

3 高知県教育委員会作成資料

- 指導改善のポイント
- 小学校外国語活動における言語活動の充実を目指した指導方法
- 中学校外国語科における言語活動の充実を目指した指導方法
- 新学習指導要領に対応した外国語活動及び外国語科の授業実践事例映像資料

解説資料一覧

- 英語ライティングシート活用事例
- 目標・言語活動の指導事項・評価規準等の一覧表

指導改善のポイント 英語（中学校2・3年生）

★まとまりのある一貫した文章を書く力を付けるために

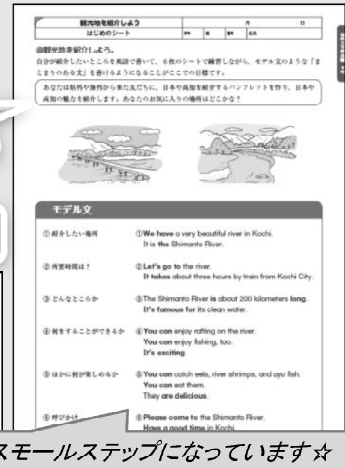
☆まとまりのある一貫した文章を書くためには、
 ①授業の中でも「書くこと」の時間を設定すること
 ②スモールステップで書かせる工夫をすること
 ③生徒が意欲的に書きたくなるテーマや活動を設定することが大切です。

高知県英語ライティングシート
 [テーマ作文編]より

平成15年度教育課程実施状況調査より

【トピック指定問題】

例) 友人や先生の紹介
 ・まとまりのある3文以上の英語で書くこと
 (最初の文には、英文の書き出しが示してある)



スモールステップになっています☆

★言語の使用場面設定を工夫するために

☆生徒自身がその場に合ったコミュニケーションを図るように、言語の使用場面の設定の工夫が大切です。例えば、日本語をそのまま英訳するのではなく、場面を想定して適切な英語を考えるような質問の仕方を授業やテストにおいても、工夫しましょう。

高知県公立高等学校入学者選抜より

2 Megumiは、昨年イギリスでのホームステイでお世話になったHelenに、日本から誕生日カードを送ることにしました。次のカードは、Megumiが書いたものです。このカードを見て、下の(1)・(2)の問いに答えよ。

Dear Helen,

Happy Birthday!

It has been a year since I stayed with you. I remember that I had a very good time on your birthday. It was a wonderful birthday party. We sang songs, danced together and ate cake. A On my birthday, my family had a big party for me. My father gave me a new bike.

B I hope...

(1) A に、今年の誕生日の予定をたずねる英語1文を書け。
 (2) B に、今年の夏にこちらに遊びに来ませんかと誘う英語1文を書け。

●自分の身近なことを書いてみよう

- 上の文を参考にして、次のような場面では英語でどう言いますか。
- (1) 自分の学校で紹介したいところを1つ選び、紹介するとき。
- (2) 自分の住んでいるところで紹介したい場所を1つ選び、紹介するとき。

(2) 自分の住んでいるところで紹介したい場所を1つ選び、紹介するとき。

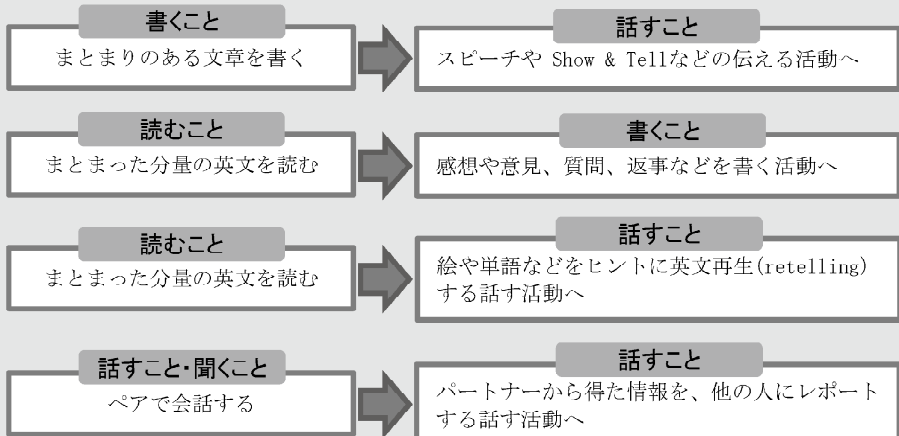
英語ライティングシート



高知県英語ライティングシート
 [テーマ作文編]では...

★4領域を関連付けた指導をするために

☆新しい学習指導要領では、4領域の統合的な指導が求められています。複数の領域を関連付け、実際のコミュニケーションの場面を想定した「活用」を意識した活動を設定しましょう。



到達度把握調査や高知県公立高等学校入学者選抜等で見られる「表現の能力」の「書くこと」の課題解決に向けて、上記のような指導を意識的に行うことが大切です。また、そのためには、3年間（各学年）の目標を明確にし、年間指導計画（単元計画）を立てることが大切です。

小学校外国語活動における言語活動の充実を目指した指導方法



外国語活動の言語活動とは

コミュニケーションの能力の素地

積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。

外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませる。

言語や文化について体験的に理解を深める。

主に聞く・話す必然性のある場面を設定した言語活動の事例

《国立教育政策研究所「言語活動の充実に関する指導事例集より」》

- 1 単元名 クイズ大会をしよう「英語ノート1」Lesson 7
- 2 単元の目標 英語と日本語との比較を通して言語の面白さや豊かさに気付くとともに、積極的にクイズ大会に参加し、クイズを出したり答えたりしようとする。
- 3 単元の評価規準
 - ・相手に伝わるように工夫をして、クイズを出したり答えたりしている。【関】
 - ・身の回りのものについて、それが何かを尋ねたり答えたりしている。【慣】
 - ・英語と日本語の身の回りの語彙の成り立ちの共通点や相違点を知ることを通して、言葉の面白さに気付いている。【気】

4 単元の指導計画（全4時間）

時	学習活動	言語活動に関する指導上の留意点
1	<ul style="list-style-type: none"> ・絵の一部や漢字の熟語を見てそれが何かを答える。 ・ゲームをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語と日本語の言葉の成り立ちの面白さに気付かせる。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・チャンツを言う。 ・ゲームをする。 ・クイズに答える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チャンツ等で使用表現に十分慣れ親しませる。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・チャンツを言う。 ・ゲームをする。 ・何かを尋ねる表現を使ったクイズを作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に伝わるようにクイズでのヒントの出し方を工夫させる。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・クイズを完成しクイズ大会をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手を意識して、聞いたり答えたりさせる。

言語活動の充実の工夫

ブラック・ボックス・クイズ

物が入ったブラック・ボックスに手を入れ、触った感触からそれが何かを当てるクイズ。感触だけでは、答えられないように回答者は軍手をはめる。そうすることで、他の児童にヒントを求めたり、ヒントを与えたりする必然性が生まれる。

連想クイズ

果物や野菜の絵が描かれたトランプカードを用い、回答者はカードの裏側を見て、周りの児童からヒントをもらいながら、それが何かを当てるクイズ。まわりの児童は、色や形、味等の知っている英語を駆使してヒントを出し、What's this?と質問。互いに一生懸命言葉を使い、分かり合おうとして、正解にたどり着いたとき、両者ともに伝わった喜びや達成感は大きい。

★各単元に設定されている表現等を使用させる場合には、児童が聞く・話す必然性がある場面設定することが大切。そうすることにより、児童が言葉でコミュニケーションを図る楽しさを感じながら、さらに聞いてみたい、話してみたいという思いをもつようになる。



中学校外国語科における言語活動の充実を目指した指導方法

外国語科の言語活動とは？

- ①外国語を使った言語活動
- ②知識・技能の活用を図る言語活動

言語活動の充実を図るためのポイント

- 聞くこと…まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取る活動。
- 話すこと…与えられたテーマについて簡単なスピーチをする。
- 読むこと…話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえること。
- 書くこと…自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように文と文のつながりなどに注意しながら、まとまった文章を書くこと。

言語活動の事例 《国立教育政策研究所「言語活動の充実に関する指導事例集より」》

単元名 「Lesson 4 Halloween」

学習指導要領との関連 言語活動 イ 話すこと



- (イ)自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること。
- (ウ)聞いたり読んだりしたことなどについて、問答したり意見を述べ合ったりなどすること。

- 単元の目標
- ◆ハロウィンと日本の祭りとを比較しながら、ALT に口頭で説明する。
 - ◆ハロウィンに関する英文を聞いたり、読んだりして要点を理解する。
 - ◆ペアやグループ活動において間違いを恐れず話す。
 - ◆look, sound を用いた文の意味・用法を理解する。

- 単元の評価規準
- 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
 - ◆ペアやグループ活動において間違いを恐れず自分の考えなどを話している。
 - 【外国語表現の能力】
 - ◆ハロウィンや日本の祭りについて口頭で説明することができる。
 - 【外国語理解の能力】
 - ◆ハロウィンに関する英文を聞いて、要点を適切に聞き取ることができる。
 - ◆ハロウィンに関する英文を読んで、要点を適切に読み取ることができる。
 - 【言語や文化についての知識・理解】
 - ◆人や物について感想を述べる look, sound を用いた文の意味・用法を理解している。

本時の学習(2/7)

目標◆見て、聞いて感じたことを言う表現 (look, sound) を用いて、人や物について正しく話す。

- ◆アップル・ポピングについての英文を読んで要点を適切に理解する。

- 展開
- ①リテリング (ALT のジャーナルを読み、内容をグループで紹介し合う)
 - ②グラマーディクテーション (CD の英文を読み、内容をグループで紹介し合う。)
 - ③新出表現 (look~, sound ~の用法説明・確認)
 - ④表現活動 (新出表現を用いてペアで会話→会話の内容の発表→英作文)
 - ⑤本文内容理解

言語活動の充実の工夫

- ◆英語の基礎的・基本的な知識・技能を習得するためには、機械的に練習するためだけでなく、実際の言語の働きや言語の使用場面を踏まえた自己表現活動を通して定着を図ることが大切！
- ◆生徒に新出表現を使用させて自己表現活動を行わせる場合は、「自分たちの生活の中にも同じような使用場面がある。」「その表現を使えば自分の気持ちをもっと上手に伝えることができる。」「既習表現も生かすことができる。」など、それらの表現の利便性を生徒に実感させることが大切！
- ◆新出表現を、使用せざるを得ない、使用したくなる必然性のある活動を単元のゴール (活動) として示し、日々の授業をつなげていくよう工夫することが大切！

新学習指導要領に対応した外国語活動及び外国語科の授業実践事例映像資料
解説資料一覧表

文部科学省から昨年9月に全中学校にDVDが送られています。見習いたいエッセンスのつまった授業DVDです。ぜひ、ご覧くださいね。



【小学校版】

学校名	見どころポイント！
青森県 八戸市立市野沢小学校	【様々な活動の設定の具体例】（5年生1月） 「英語ノート1 Lesson 8 全4時間の単元の3時間目」
石川県 能美市立粟生小学校	【教材の工夫の具体例】（5年生1月） 「英語ノート1 Lesson 6と9とを合わせた全4時間の単元の4時間目」
京都府 京都市立藤ノ森小学校	【活動の様々な工夫の具体例】（5年生1月） 「英語ノート1 Lesson 8 全4時間の単元の1時間目」
三重県 鈴鹿市立椿小学校	【学級担任とALTとのティーム・ティーチングの具体例 学級担任の役割】 （6年生2月）「英語ノート2 Lesson 9 全4時間の単元の3時間目」
熊本県 熊本市立池上小学校	【教室英語の具体例】（5年生2月） 「英語ノート1」Lesson 8 全4時間の単元の4時間目」

【中学校版】

新学習指導要領への移行期間における指導改善のポイントとして強調しているもの

- ☆ 4技能の総合的な育成
- ☆ 小学校における外国語活動を踏まえた指導
- ☆ 知識・技能の活用を図る言語活動の充実
- ☆ 語彙の充実

埼玉県 白岡町立 篠津中学校	<p>【ALTとのティーム・ティーチング】 （2年生12月）</p> <p>JTE・ALTの役割分担を明確にしたうえで、常に全体を見ながらも、随所で一人一人の状況をきちんと把握しようとしていました。言語活動についても、簡単なものから始め、少しずつ負荷をかけていくところは注目に値します。</p> <p>全体的に生徒が4領域を通してたくさんの英語にふれ、実際に使っていた点で工夫の見られる授業でした。小学校での「素地」を踏まえた4技能の総合的な育成、さらには高校への接続と中学校の果たすべき役割は大きいです。</p>
京都府 京都市立 京都御池中学校	<p>【本時は、相手に自分の意見や考えとその理由をわかりやすく伝え、意見交換をすることがねらい】</p> <p>Which do you like better, Yoshi kun's life or Nice kun's life? （2年生1月 全9時間の単元の3時間目）</p> <p>全体を通して、先生がゆったりと英語で授業を進める中で、生徒が自分の考えや意見などを活発に出し合う場面が印象的でした。</p>
香川県 宇多津町立 宇多津中学校	<p>【習熟度別指導の「発展」クラス 自分の夢を語ろう】（3年生 1月）</p> <p>「読むこと」から「話すこと」へ、また、「話すこと」から「書くこと」へと4技能を統合的に活用させる言語活動を意図的に設定しています。</p> <p>国の調査等から課題となっている、まとまった内容の文章を書くことにおいて、いかにすれば「書きたい」という意欲を高められるのか、書く前にどのようなプロセスを経ておくのがよいのか、などの点で参考となる実践。</p>
愛媛県 松前町立 北伊予中学校	<p>【本時は、全7時間の単元の3時間目。スキット作りに挑戦しよう】（1年生12月）</p> <p>新出の文法事項である過去形を次々に実際のコミュニケーションの場面で使わせる本実践は、まさに「活用を通して定着を図る」典型例でしょう。</p>
広島県 廿日市市立 大野東中学校	<p>【本時は、全10時間の単元の6時間目】（3年生12月）</p> <p>授業の最後に、読み方についてのアドバイスをしています。説明文の大切な部分を正確に読み取らせるための指導の工夫について、多くの示唆が得られたのではないのでしょうか。</p> <p>ペアワークやグループワークも適宜取り入れられていました。様々な学習形態のそれぞれの利点を最大限生かせるよう、指導計画の中でじっくり考えておきたいものである。</p>

新学習指導要領に対応した外国語活動及び外国語科の授業実践事例映像資料

解説資料一覧表

これは、DVD 中の埼玉県の中学校の 1 例です。1 時間の授業のながれを見てみましょう。

【中学校版】



【埼玉県 白岡町立篠津中学校】 (ALT とのティーム・ティーチング 2 年生 12 月 TOTAL ENGLISH)

活動内容	ポイント
挨拶	
<u>冬休みの予定についての会話</u> JTE・ALT のモデル対話を聞く。	●あとの「1 minute chat」で話題となることを、ALT とともにモデルとして示します。
ALT が生徒一人一人に質問し、生徒は答える。 ALT: What will you do for winter vacation? S: I will ~.	●まず、一人一人に質問していきます。
1 文プラスして答える。	●今度は、1 文プラスして答えることを条件とします。 (教師がデモンストレーション) T: What will you do during winter vacation? T: I will visit my friend. We will have a Christmas Party together.
ALT が生徒一人一人に質問し、生徒は答える。 ALT: What will you do for winter vacation? S: I will practice baseball. Because I like to play baseball.	
<u>1 分間チャット(ペア)</u> ① What will you do during winter vacation? アイコンタクト、相づちを意識する。 相手の情報を聞き取れるように互いに質問する。 ②相手から聞き取った情報を英語で書く。 質問できなかつたり、言えなかつたことを日本語で書く。(2分)	●高校への円滑な接続のためにも授業はなるべく英語で行うよう心がける一方で、活動のねらいや方法、注意点などについては、丁寧に日本語で伝えることも必要です。

<p>教科書本文 (P68) の読み</p> <p>① ALT の後について読む</p> <p>② グループ読み</p>	<p>●メンバーの1人が1文を音読し、他のメンバーがリピート、そして次の1文へとリレー形式で行う「GROUP READING」です。</p>
<p>教科書の本文の内容理解</p> <p>① 教師の質問に答える。(グループ対抗)</p> <p>*T:What are these? S:They are universal designs.</p> <p>*T:Please look at this picture. This is Mihi. This is Mihi's sister. Where does she study? S:She studies universal design at college.</p> <p>*T: Please look at this picture. Where can you see this wide gate? S: I see it at the station. T: Anything else? S: Hospital T: Really? S: Airport. T: Oh, yes. S: Underground. T: Very good.</p> <p>*T: What's this? S: That is a bathroom. T: Where can you see this kind of bathroom. S: In the department store. S: In the park.</p> <p>*T: How do you say 車椅子に乗った人々 in English? S: People in wheelchairs.</p> <p>*T: How do you say 大きなかばんを持った人々? S: People with big bags.</p> <p>*T:How do you say ベビーカーを持った人々? S: People with baby carriages.</p>	<p>●各グループで解答者が順番に起立し、本文の内容に関する質問に答えるゲーム形式の活動です。</p> <p>●絵や写真を用いて質問することで ORAL INTERACTION のハードルを下げています。</p>

<p>②ALT の質問にできるだけフルセンテンスで答える。(写真なし)</p> <p>*ALT: What does Mihi's sister study at college?</p> <p>S: She studies universal design at college.</p> <p>*ALT: What is Mihi showing Aki?</p> <p>S: She is showing some interesting pictures.</p> <p>ALT: What does universal design mean?</p> <p>S: It means useful things for everyone.</p> <p>*ALT: There are 3 people. Who can walk through this wild gate?</p> <p>S: People in wheelchairs or people with a baby carriage can walk through this gate.</p>	<p>●フルセンテンスで答えることを奨励します。 しかも今回は visual aids なしのQ&Aとしています。</p>
<p>③教科書を開けて答える。(P60)</p> <p>*ALT: Why is the bathroom so big?</p> <p>S: Because it's for everyone. For example someone in wheelchairs or someone with a baby.</p> <p>ALT: Why is the door handle so long?</p> <p>S: Because it's useful for people in wheel chairs to do.</p>	
<p><u>教科書の本文を英語で表現 (メイン)</u></p> <p>写真と、ヒントとなる単語を見ながら絵について説明をする。</p> <p>① 教師と全体練習 教師の後をリピートする。</p> <p>② グループ練習 教科書を見たり、カードを見たりしながら練習する。</p> <p>③ 個人練習 (8分でグループで協力) 教師のモデルを見る。 カードを見ながら言える。(シール1個) 相手を見て、写真をさしたりしながら説明する。 自分の考えを一言入れる。 (I think that ~.)</p> <p>準備ができたなら教師のところで発表する。</p>	<p>●本文の内容に関する理解を中心とした活動を受けて、表現を中心とした“Story Telling”の活動へとつなげます。</p> <p>●個人で言えるかどうかをいくつか確認しながら進めているところが注目点です。</p> <p>●目標とするべき“Story Telling”の例を示します。 ひとこと自分の考えを添える余地を与えています。</p> <p>●準備のできた生徒から JTE・ALT のところへ発表に来ます。</p>

<p><u>まとめ</u> 代表者がクラス全体の前で発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●今度はクラス全体の前で発表する場です。 ●他の生徒たちも発表の様子に注目しています。 ●練習して自信がつくと、発表への意欲も高まっています。
<p>挨拶</p>	

参考となるポイント

JTE・ALT の役割分担を明確にしたうえで、常に全体を見ながらも、随所で一人一人の状況をきちんと把握しようと努めていました。言語活動についても、簡単なものから始め、少しずつ負荷をかけていくところは注目すべきポイントです。

全体的に生徒が4領域を通してたくさんの英語にふれ、実際に使っていた点で工夫の見られる授業でした。小学校での「素地」を踏まえた4技能の総合的な育成、さらには高校への接続と中学校の果たすべき役割は大きいですね！

英語ライティングシート活用事例

高知県教育委員会事務局小中学校課

「英語ライティングシート（試行版）の活用に関するアンケート」へのご回答ありがとうございました。感想や改善点などたくさんのご意見をいただきました。英語パイロットスクール事業指定校の活用状況やアンケートのご意見をもとに、正式版では、さらに使いやすくなるよう改善を加えています。活用においても、短い期間にもかかわらず各校でそれぞれの工夫が見られました。活用事例として紹介しますので、各校の実態に合わせ、「英語ライティングシート」の活用ください。

使いやすかった点 ～ここがよかった！～



- ・ 基本的な問題ばかりで、全員が取り組むことができる。
- ・ 1年生にとって、繰り返し書くことで正確性や文の書き方の決まりが身に付く。
- ・ 例文がたくさんあるので、英作文のときに活用できる。
- ・ 教科書の重要表現の定着に効果がある。
- ・ 他の教科書会社の単語や文型にふれさせることで、入試対策につながる。
- ・ 自分で学習できる内容で、短時間で取り組める。加力学習の時間に使いやすい。
- ・ テーマ作文編には、モデル文がありスローラーナーも学習しやすい。
- ・ 連想ゲームなど、感覚から英語をつかむことができる。
- ・ 生徒の状況に応じて、加工できる。
- ・ 自分でチェックすることで、課題を意識することができる。

正式版での改良点 ～より使いやすい～

- ・ 1年生はゴシック、2、3年生はセンチュリーで、教科書で用いられる書体に近いフォントとした。
- ・ 可能な限りカテゴリ別にまとめ、同じ種類の単語をまとめて練習できるようにした。
- ・ 不規則動詞については、原形—過去形—過去分詞形を示すようにした。
- ・ アクセントを示し、発音を意識できるようにした。
- ・ テーマ作文編は、各学年2テーマ設け、まとまりのある文章を書くための練習をたくさんできるようにした。
- ・ テーマ作文編のチェックシート「自分のことを書いてみよう」では、日本文をそのまま英作するのではなく、場面設定に合う表現を自分で考え、英文にする問題とした。

活用時間・活用等の工夫

- 学習のねらいを伝え、英語力を付けるために取り組んでいくことを確認する。
- 家庭学習として使用する。
 - ・ 家庭学習の習慣が定着していない生徒に、シートを渡し、学習につなげる。
- 朝学習や帰りの会の学習時間で使用する。
 - ・ 制限時間を設けたり、集中できる環境で取り組む。
- 加力学習（放課後や休業中）や、休業中の家庭学習として使用する。

活用事例

皆さんからいただいた活用事例を紹介します。

担任が学習状況を把握でき、自主学习等にもつながります。

I 単語・連語編

事例1 学級で担任の先生が活用しています。(朝夕の帯学習など)

全校で取組時間を確保し、2週間に一度、確認テストを実施する。
他教科と交互に、帰りの会の自習として活用する。

事例2 家庭学習で練習させ、次時の授業でチェックテストをしています。

事例3 読めるかどうかペアでチェックをしてから、書く練習を始めます。

つづりを正しく書くためには、まず読めることが大切です。

まずは、自分で課題をつかませます。

事例4 チェックシートから始めます。

チェックシートから始め、つづりを覚えているかどうかをチェックする。間違った単語を、練習シートやノートに練習し、再度チェックテストを行う。

事例5 例文を活用しています。

練習シートの単語練習欄に、例文を練習する。
その後、日本語を見て英作する。

単語だけを覚えるのではなく、文の中で、どのように使うかを理解することは大切です。

事例6 自己表現文の練習に発展させています。

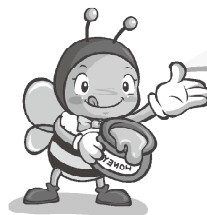
チェックシートの下段や練習シートの単語練習欄に、自己表現文を作成する。
チェックシートから始め、つづりを全て正しく書けた生徒は、練習シートへの単語練習は行わず、自己表現文の作成や例文を練習する。

事例7 電子データを利用し、シートをアレンジしています。

教科書に対応した語句や連文にアレンジして、シートを作成し、品詞を書く欄や、自己表現文を作成する欄を追加する。

事例8 入試に向けての復習として活用しています。

1年生からの復習として活用する。



他の教科書の語彙にふれることで、語彙の充実にもつながりますね。

Ⅱ 重要表現編

事例1 音読や視写に活用しています。

事例2 新文型の導入時に、レディネステストとして活用しています。

受け身の文法導入前に、be 動詞が定着しているかどうかを be 動詞の重要表現シートを活用してレディネステストや復習として用いる。

事例3 チェックシートを並べ替え問題にアレンジして活用しています。

チェックシートでの英作が難しい生徒には、単語をあたえ、並べ替え問題にアレンジする。電子データを利用して、シートをアレンジしたり、黒板にヒントとして使用語句を板書する。

事例4 自己表現文の練習に発展させています。

同じ文型を使って、自己表現文を作成する。



事例5 否定文や疑問文の書きかえ練習に活用しています。

1行目は、重要表現の練習をし、2行目には、教師が「否定文・疑問文・過去形」などの指示を与え、文の書き換え練習として用いる。

事例6 定期テスト前の学習として活用しています。

定期テスト前に、重要表現の定着のための練習を行う。(授業、家庭学習で)
※生徒が、自分の苦手な重要表現のシートを選び、練習に取り組む。

事例7 入試対策や、下学年の復習として活用しています。

いくつかのシートまとめて印刷しておき、苦手な文法事項を選んで復習に取り組む。



Ⅲ テーマ作文編

事例1 自己紹介スピーチで活用しています。(Show & Tell) (1年)

「まとまりのある英文を6文以上書ける」ことを1学期のゴールに設定する。「イメージわくわくシート」や「練習シート」を使用して、スモールステップで表現を練習する。練習した表現や流れを参考に、自己紹介文を書く。



事例2 自己表現文の練習 (2, 3年復習・高校入試対策)

2, 3年生の復習や高校入試の自己表現文の対策として、チェックシートの「自分のことを書いてみよう」だけを抜き出し、練習する。「お気に入りの教科は何か問いかけよう」など、場面から英文を表現する問題は、力になる。



4領域を統合した言語活動を行うことは、新学習指導要領において改訂のポイントの1つです。完成させた文章をさらに活用し、書くことから他の技能につなげたいですね。

事例3 4領域を統合した活動 (Retelling, Speech など)

① 「書くこと」から「話すこと」へ

「まとまりのある文章」完成後、スピーチ活動や Show and Tell の「話す」活動へつなげる。

② 「書くこと」から「読むこと」へ

作成した「まとまりのある文章」を、読解問題として利用する。概要をつかむ質問をする。友達を書いた文章なので、興味をもって読み進めることができる。短い文章でも読むことに慣れることから始める。

③ 「書くこと」から「読むこと」「書くこと」へ

友達を書いた「まとまりのある文章」を読み、それに対する感想や質問を書いて、友達に返す。興味をもって読み進めるとともに、友達からのフィードバックを読みたい気持ちや意欲が生まれ、さらに意欲を高めることができる。

例) ペアでシートを交換し、相手の自己紹介文を読み、質問欄へ Do you~? や What's your favorite~? などの質問を書く。シートを再度交換し、質問に対する回答を書く。日記などでも同様に、Did you~? What did you~? Do you usually~? などの質問を書くことができる。また、意見や感想を書く定型文を学び、文章に書かれている英文や表現を利用して、質問や感想、意見等を書く練習につなげる。

④ 「書くこと」から「読むこと」「話すこと」へ

友達を書いた「まとまりのある文章」を読み、そのことについて他者へレポートする。自己紹介の場合は、他己紹介につなげることができる。

目標・言語活動の指導事項・評価規準等の一覧表

<外国語科の目標（学習指導要領）>

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

<評価の観点及びその趣旨>

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	外国語で話したり書いたりして、自分の考えなどを表現している。	外国語を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意向などを理解している。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。



内容の まとめ り	目標	言語活動の指導事項	評価の観点	「聞くこと」の評価規準 に盛り込むべき事項	「聞くこと」の評価規準の設定例
ア 聞 く こ と	初歩的な英語を聞いて話し手の意向などを理解できるようにする。	(ア) 強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく聞き取ること。 (イ) 自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、情報を正確に聞き取ること。 (ウ) 質問や依頼などを聞いて適切に応じること。 (エ) 話し手に聞き返すなどして内容を確認しながら理解すること。 (オ) まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ること。	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	【言語活動への取組】 「聞くこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。 【コミュニケーションの継続】 様々な工夫をして、聞き続けようとしている。	【言語活動への取組】 ・相づちをうったりメモをとったりするなど、相手の話に関心をもって聞いている。 ・聞いたことなどについて簡単な言葉や動作などで反応している。 【コミュニケーションの継続】 ・相手に聞き返すなどして、言われたことを確認しながら聞き続けている。
			外国語表現の能力	【正確な聞き取り】 英語で話されたり読まれたりする内容を正しく聞き取ることができる。	【正確な聞き取り】 ・強勢やイントネーション、区切りなどの特徴をとらえて聞き取ることができる。 ・語句や表現、文法事項などの知識を活用して短い英語の内容を正しく聞き取ることができる。
			外国語理解の能力	【適切な聞き取り】 場面や状況に応じて英語を適切に聞いて理解することができる。	【適切な聞き取り】 ・話されている内容から話し手の意向を理解することができる。 ・質問や依頼などを聞いて、簡単な言葉や動作などで適切に応じることができる。 ・まとまりのある英語を聞いて、全体の概要や内容の要点を聞き取ることができる。
			言語や文化についての知識・理解	【言語についての知識】 英語やその運用についての知識を身に付けている。	【言語についての知識】 ・発音の違いや音変化に関する知識を身に付けている。 ・基本的な強勢やイントネーションなどの違いを理解している。
				【文化についての理解】 言語の背景にある文化について理解している。	【文化についての理解】 ・家庭、学校や社会における日常生活や風俗習慣など、「聞くこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解している。

内容の まとめ り	目標	言語活動の指導事項	評価の観点	「話すこと」の評価規準 に盛り込むべき事項	「話すこと」の評価規準の設定例
イ 話 す こ と	初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話すことができるようにする。	(ア) 強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく発音すること。 (イ) 自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること。 (ウ) 聞いたり読んだりしたことなどについて、開き手や意見を述べ合ったりなどすること。 (エ) つなぎ言葉を用いるなどのいろいろな工夫をして話を続けること。 (オ) 与えられたテーマについて簡単なスピーチをすること。	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	【言語活動への取組】 「話すこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。 【コミュニケーションの継続】 様々な工夫をして、話し続けようとしている。	【言語活動への取組】 ・間違えることを恐れず積極的に自分の考えなどを話している。 ・聞き手が理解しやすくなるように工夫して話している。 ・開き手や意見を述べ合ったりしている。 【コミュニケーションの継続】 ・つなぎ言葉を用いるなどして話を続けている。 ・身振り手振り、知っている語句や表現をうまく利用して自分の考えなどを話している。
			外国語表現の能力	【正確な発話】 自分の考えや気持ち、事実などを英語で正しく話すことができる。	【正確な発話】 ・強勢やイントネーション、区切りなどを用いて話すことができる。 ・語句や表現、文法事項などの知識を活用して正しく話すことができる。
			外国語理解の能力	【適切な発話】 場面や状況に応じて英語で適切に話すことができる。	【適切な発話】 ・場面や状況にふさわしい表現を用いて話すことができる。 ・尋ねられたことに対して適切に応答することができる。 ・適切な声量や明瞭さで話すことができる。 ・聞き手を意識して強調したり繰り返したりして話すことができる。 ・与えられたテーマについて自分の意見や主張をまとまりよく話すことができる。
			言語や文化についての知識・理解	【言語についての知識】 英語やその運用についての知識を身に付けている。	【言語についての知識】 ・発音の違いに関する知識を身に付けている。 ・基本的な強勢の違いを理解している。 ・基本的なイントネーションの違いを理解している。 ・基本的な区切りについて理解している。 ・話を続けるために必要なつなぎ言葉や相づちをうまく表現などを知っている。
				【文化についての理解】 言語の背景にある文化について理解している。	【文化についての理解】 ・家庭、学校や社会における日常生活や風俗習慣など、「話すこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解している。

内容の まとめ り	目 標	言語活動の指導事項	評価の観点	「読むこと」の評価規準に 盛り込むべき事項	「読むこと」の評価規準の設定例
ウ 読 む こ と	英語を読むことに慣れ親しみ、 初歩的な英語を読んで書き手の意向などを理解できるようにする。	(ア) 文字や符号を識別し、正しく読むこと。 (イ) 書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること。 (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。 (エ) 伝言や手紙などの文章から書き手の意向を理解し、適切に応じること。 (オ) 話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるように、書かれた内容や考え方をとらえること。	コミュニケーションへの関心・ 意欲・態度	【言語活動への取組】 「読むこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。	【言語活動への取組】 ・読んだことについて、メモをとったり簡単な言葉や動作などで反応したりしている。 ・辞書を活用して読んでいる。 ・積極的に音読している。
				【コミュニケーションの継続】 様々な工夫をして、読み続けようとしている。	【コミュニケーションの継続】 ・繰り返して読んだり読み返したりして読み続けている。
			外国語表現の能力	【正確な音読】 英語を正しく音読することができる。	【正確な音読】 ・正しい強勢、イントネーション、区切りなどを用いて音読することができる。
				【適切な音読】 英語で書かれた内容が表現されるように適切に音読することができる。	【適切な音読】 ・意味内容にふさわしく音読することができる。 ・適切な声量や明瞭さで音読することができる。
			外国語理解の能力	【正確な読み取り】 英語で書かれた内容を正しく読み取ることができる。	【正確な読み取り】 ・語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を正しく読み取ることができる。
				【適切な読み取り】 目的に応じて適切に読んで理解することができる。	【適切な読み取り】 ・あらすじや大切な部分などを読み取ることができる。 ・書かれた内容から書き手の意向などを読み取ることができる。 ・伝言や手紙などを読んで、その内容にあわせて適切に応じることができる。 ・文や文章を目的に応じた適切な速さで読み取ることができる。 ・話の内容や書き手の意見などを批判的に読むことができる。
			言語や文化についての知識・理解	【言語についての知識】 英語やその運用についての知識を身に付けている。	【言語についての知識】 ・基本的な強勢やイントネーションなどの違いを理解している。 ・語句や文、文法などに関する知識を身に付けている。
				【文化についての理解】 言語の背景にある文化について理解している。	【文化についての理解】 ・家庭、学校や社会における日常生活や風俗習慣など、「読むこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解している。

内容の まとめ り	目 標	言語活動の指導事項	評価の観点	「書くこと」の評価規準に 盛り込むべき事項	「書くこと」の評価規準の設定例
エ 書 く こ と	英語で書くことに慣れ親しみ、 初歩的な英語を用いて自分の考えなどを書くことができるようにする。	(ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。 (イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。 (ウ) 聞いたことについてメモをとったり、感想、賛否やその理由を書いたりなどすること。 (エ) 身近な場面における出来事や体験したことなどについて、自分の考えや気持ちなどを書くこと。 (オ) 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと。	コミュニケーションへの関心・ 意欲・態度	【言語活動への取組】 「書くこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。	【言語活動への取組】 ・間違えることを恐れず積極的に書いている。 ・読み手が理解しやすくなるように書いたり、書き直したりしている。 ・辞書を活用して書いている。
				【コミュニケーションの継続】 様々な工夫をして、書き続けようとしている。	【コミュニケーションの継続】 ・うまく書けないところがあっても、知っている語句や表現を用いて書き続けている。
			外国語表現の能力	【正確な筆記】 自分の考えや気持ちなどを英語で正しく書くことができる。	【正確な筆記】 ・語句や表現、文法事項などの知識を活用して正しく書くことができる。
				【適切な筆記】 目的に応じて英語で適切に書くことができる。	【適切な筆記】 ・場面や状況にふさわしい表現を用いて書くことができる。 ・感想や内容に対しての賛否に加えてその理由を書くことができる。 ・内容的にまとまりのある文章を書くことができる。
			外国語理解の能力		
				言語や文化についての知識・理解	【言語についての知識】 英語やその運用についての知識を身に付けている。
			【文化についての理解】 言語の背景にある文化について理解している。		【文化についての理解】 ・家庭、学校や社会における日常生活や風俗習慣など、「書くこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解している。

4 実践例

- 到達目標例
- CAN-DO リスト例

到達目標例

＜東京都国分寺市立第一中学校 相沢秀和主任教諭の実践より＞ 掲載のご協力をいただきました。

各学年の到達目標と活動・練習例＜3年生＞

技能	到達目標	該当する活動や練習
話す力	①テーマに沿ってまとまりのあるスピーチができる	スピーチ、Show & Tell
	②ペアで1分間、グループで2分間、テーマに沿って自分の考えを述べたり、相手の意見を聞いたりという会話が続けられる	ペアやグループでのChat
	③状況に応じた即興会話ができる	即興会話練習、インタビューテスト
	④正しい発音で音読や発話ができる	発音練習、音読練習
聞く力	①まとまりのある英文を聞いて、概要や必要な情報を聞き取ることができる	Listening練習 Listeningテスト
	②英語の問いに臨機応変に応じることができる	英語でのInteraction、インタビューテスト
読む力	①内容を理解した音読ができる (意味のまとまり、強弱、感情の表現など)	音読練習
	②まとまりのある英文を読んで、あらすじや必要な情報を読み取ることができる	読解練習、読解テスト
	③1分間で80～100語以上の英文を読み、概要を捉えることができる	速読練習
書く力	①既習の知識を総合的に活用しながら、ア)即興で、何も見ずに5文程度の英文を書くことができる	即興英作文練習
	イ)資料を参考にして、10文程度の自分の意見や状況を説明するために必要十分な量の英文を書くことができる	英作文練習、英作文テスト
	②テーマに沿って、文と文のつながり、論理的な展開や段落を意識した文章を書くことができる	パラグラフ・ライティングの学習・練習 英作文テスト

＜2年生＞

技能	到達目標	該当する活動や練習
話す力	①テーマに沿ってスピーチや会話発表ができる	スピーチ、Show & Tell、会話発表
	②ペアで1分間のテーマに沿って自分の考えを述べたり、相手の意見を聞いたりという会話が続けられる	ペアでChat
	③状況に応じた即興会話ができる	即興会話練習、インタビューテスト
	④正しい発音に気をつけて音読や発話ができる	発音練習、音読練習
聞く力	①英文を聞いて、概要や必要な情報を聞き取ることができる	Listening練習、Listeningテスト
	②英語の問いに適切に応じることができる	英語でのInteraction、インタビューテスト
読む力	①内容を理解した音読ができる (意味のまとまり、強弱、感情の表現など)	音読練習
	②英文を読んで、あらすじや必要な情報を読み取ることができる	読解練習、読解テスト
書く力	①既習の知識を総合的に活用しながら、資料を参考にして、8文程度の自分の意見や状況を説明する英文を書くことができる	英作文練習 英作文テスト
	②テーマに沿って、文と文のつながりや段落を意識した文章を書くことができる	マッピングやパラグラフ・ライティングの学習・練習

＜1年生＞

技能	到達目標	該当する活動や練習
話す力	①テーマに沿って簡単なスピーチや会話発表ができる	スピーチ、Show & Tell、会話発表
	②ペアで1分間指定された問答ができる	ペア会話活動
	③状況に応じた英文を言ったり、質問にその場で答えたりすることができる	即興会話練習 インタビューテスト
	④英語らしい発音を意識して音読や発話ができる	発音練習、音読練習
聞く力	①簡単な英文を聞いて、概要や必要な情報を聞き取ることができる	Listening練習 Listeningテスト
	②簡単な英語の問いに応じることができる	英語でのInteraction、インタビューテスト
読む力	①内容を理解した音読ができる (リズム、感情の表現など)	音読練習
	②簡単な英文を読んで、あらすじや必要な情報を読み取ることができる	読解練習
書く力	①既習の知識を総合的に活用しながら、資料を参考にして、8文程度の英文手紙を書くことができる	英作文練習 英作文テスト
	②テーマに沿って、文と文のつながりや段落を意識した文章を書くことができる	マッピングの学習・練習

CAN-DO リスト例

＜東京都港区立赤坂中学校 北原延晃教諭の実践より＞
掲載のご協力をいただきました。

英語力の伸び調査 英検 5 級レベル

1 年 () 組 () 番 ()

各項目の中で「あてはまる」「だいたいあてはまる」と思うものを選んで○をつけてください。

	読 む	4 月	9 月	12 月	3 月
1	アルファベットの大文字と小文字が読める。				
2	アルファベットが順番どおりに言える。				
3	ピリオド (.)、クエスチョンマーク (?)、カンマ (,)、引用符 (“ ”)、感嘆符 (!) を理解することができる。				
4	英和辞書をひいて目的の語をみつけることができる。				
5	日常生活の身近な単語を読んで理解することができる。(例: dog / cat / happy)				
6	日常生活の身近な語句を読んで理解することができる。(例: in the morning, at home)				
7	日常生活の身近なことを表す簡単な文を理解することができる。(例: I play tennis every day.)				
8	日常生活の身近なことを表す簡単な 2 文以上の文章を理解することができる。				
9	教科書をスラスラ音読できる。				

	聞 く	4 月	9 月	12 月	3 月
1	初歩的な語句や決まり文句を聞いて理解することができる。(Three books. / I don't know. / Here you are. など)				
2	アルファベットを聞いて、どの文字かを思い浮かべることができる。				
3	日常生活の身近な単語を聞いて、その意味を理解することができる。(例: dog/ cat)				
4	曜日、日付、天候を聞き取ることができる。(例: Monday, September 14, cloudy)				
5	日常生活の身近な数字を聞き取ることができる。(電話番号、時間、年齢など)				
6	日常的なあいさつを理解することができる。(例: How are you? / Nice to meet you.)				

	話 す	4 月	9 月	12 月	3 月
1	アルファベットを見てその文字を発音することができる。				
2	日常生活の身近な単語を発音することができる。(例: dog / cat / happy)				
3	日常生活の身近な数字を言うことができる。(電話番号、時間、年齢など)				
4	簡単なあいさつをかわすことができる。(例: Good morning. / Good Night.)				
5	あやまったり、お礼を言ったりすることができる。(例: I'm sorry. / Thank you.)				
6	日常生活の身近な話題について Yes / No で答える質問に答えることができる。(「好き」「嫌い」など)				
7	日常生活の身近な話題について What, Who, Where, when, How など始まる質問に短く簡単に答えることができる。(Where do you live? – In Shibuya. など)				
8	3～5 文で自己紹介や家族・友達紹介ができる。				
9	友達と 2 行の簡単なペアワーク (対話) ができる。				

	書 く	4月	9月	12月	3月
1	アルファベットの大文字と小文字が書ける。				
2	英語の書き方の決まりに合わせて正しく文が書ける。(先頭は大文字、単語と単語の間は少しはなす、文の最後にはピリオド(.)かクエスチョンマーク(?)など)				
3	黒板に書かれた文や教科書の文を正しくノートに写せる。				
4	重要単語(例:教科書で太字になっている)なら半分くらいは書ける。				
5	語句を並べて短いメモを書くことができる。(例: party, 6:00)				
6	短い文であれば、英語の語順で書くことができる。(例: I go to school at eight.)				

	語 い	4月	9月	12月	3月
1	教科書に出てくる語のうち、簡単な語は発音できるし、意味もわかる。				